



慶光会だより

108号

令和7年9月吉日発行



令和7年4月、「ワークスうつぶき」移転オープン!

ワークスくらよし(就労継続支援B型事業所)の従たる事業所として運営していた「ワークスふくよし」が移転し、新たに「ワークスうつぶき」として開所しました。移転前の「ワークスふくよし」で事業を行う中で利用希望も増加し、作業スペースや休憩スペースが手狭になったこと、また、通所のさらなる利便性を考え、倉吉市の市街地への移転を検討した結果、今回の移転となりました。「うつぶき」という名前は、鳥取県倉吉市を象徴する打吹山・打吹公園の「うつぶき」からきており、地元の方々にもなじみ深く愛着を持っていただきたいという思いが込められています。倉吉駅からも車で10分、倉吉駅直線の路線バスのバス停からも徒歩3分であり、公共交通機関を利用した通所がさらに容易になりました。建物も2階建てとなり、作業スペース・休憩スペースともに、移転前に比べ

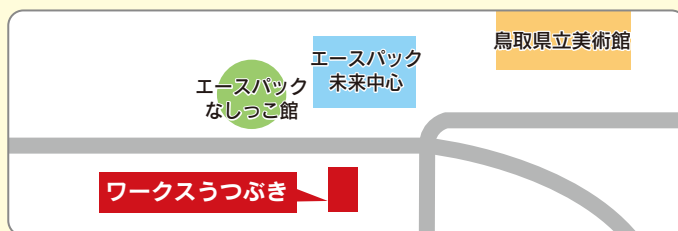
約4倍になり、エレベーターも完備しています。利用されている方の中には、杖を使用されている方や長時間の立ち仕事が多く、イスに座って作業されている方もおられますが、十分なスペースが確保でき安全な移動が可能となりました。また、広い休憩スペースがあるため、一人ひとりがゆつくりと休憩することもできます。このように、作業しやすい環境や過ごしやすい環境を整えることも、事業所の大切な役割だと思っています。引き続き安定した作業提供と鳥取県内でもトップクラスの工賃支給はもちろん、利用される皆さんが仕事を頑張れるような環境を作っていきたいと思っています。見学も随時受け付けていますので、お気軽にお問合せください。

ワークスくらよし管理者 北野正樹

ワークスうつぶき

(就労継続支援B型:ワークスくらよし従たる事業所)

鳥取県倉吉市駄経寺町227-6
路線バス:倉吉パークスクエア下車



社会福祉法人 慶光会

〒717-0602 岡山県真庭市蒜山上福田1201番地8 TEL (0867)66-4069

ホームページも見てね!

慶光会

検索



新たな実践に向けて

ワークスうつぶき

表紙でもご紹介しました「ワークスうつぶき」について、もう少しご紹介します。



目の前には、左手にエースパック未来中心、右手奥には鳥取県立美術館がすぐそこにあります。



1階が作業場です。広い作業場なので、ゆとりのあるスペースでの作業が可能です。



2階が休憩室です。エレベーターもあるので、足元の悪い方でも安心して移動できます。明るくて広い休憩室からは、打吹山も眺めることができます。



利用されている方々にも、お話を聞いてみました



場所が広がったので、集中して作業できています。トイレやエレベーターなどの設備面も良くなって、過ごしやすくなりました。

休憩室も広がって、みんな、ゆっくりと自由に過ごせています。ゆっくり休憩して、午後からの仕事も、また頑張れます。



広がったので、作業中に動く時も物にぶつかる心配もなくなりました。

お仕事の目標についても、「大阪に行って美味しい物を食べたり、買い物をしたい。」「体力がないので、少しずつムリなく続けたい。」「毎日の生活を余裕をもって過ごしたい。｣とお話してくださいました。これからも利用者の皆さんにとって働きやすい・過ごしやすい事業所を目指していきます。

地域活動支援センターくらよし

令和7年4月に、倉吉駅のすぐ目の前の鳥取県倉吉市上井町2丁目2-1に、「地域活動支援センターくらよし」を開所しました。地域活動支援センターは、就労につながる前の段階や安定した通所が難しい方々へ、活動やイベントへの参加を通して居場所づくりや経験の幅を広げる機会、社会とつながるきっかけづくりの場として開所しました。また、夢を応援するプロジェクトの1つとして、本格的なe-スポーツの設備も導入しています。体験会も開催していますので、お気軽にお越しください。詳しいスケジュール等は、慶光会HPでご確認ください。



1階が駐車場、2階が活動フロア、3階が会議室等のフリースペースとなっています。



明るくて開放感のある2階の活動フロアで、いろいろなイベントを開催しています。



e-スポーツは本格的なものから誰でも楽しめるものまでそろっています。e-スポーツで世界へチャレンジ！

選べる楽しみを(就労継続支援B型事業所)



ワークスひるぜん、ワークプレイスまにわ、ワークスくらよしの3事業所で、昼食提供を希望される方へ、ご自分で選んだメニューの提供を行っています。メニューは約10種類、唐揚げ・ハンバーグ・生姜焼き・鯖みそ・照り焼きチキン・カレー・牛丼など色々なメニューがあります。決められた物でなく、自分の気分に合わせて選べるのが魅力です。

利用されている方からも、「メニューを見て、その日の気分に合わせて選べるのでいい。」「やっぱり選べる方がいい。」と好評です。それぞれが選んだメニューを職員が大型加温機にセットしておくと、お昼には、ほかほかのお弁当が食べられます。特に冬は、温かいご飯でお腹も心も満たれます。この選べる昼食が、利用されている方々の毎日の楽しみになればいいなあと思っています。



安心で快適な入浴(蒜山慶光園:入所施設)

令和7年3月、蒜山慶光園にリフトキャリー型の機械浴を導入しました。利用者の高齢化に伴い、入浴に介助が必要な方が増えてきたことがきっかけです。この機械浴を使うことで座ったままの状態での湯船に入ることができ、車いすの方でも安心・安全に入浴できるようになりました。

今まで広い浴槽しかなく、広い湯船が落ち着かないと感じていた方も、こじんまりとした湯船で安心してゆっくりと浸かれるようになりました。機械浴を利用されている皆さんは、身体が温まってとても気持ちよさそうな表情をされています。職員からも「お風呂が好きでも湯船に浸かることが難しかった方が、久しぶりに湯船に浸かった時に笑顔になり、うれしかった。」という声や、「介助側の身体的負担も軽くなって、よかった。」という声も上がっています。

機械浴の導入で、利用されている方だけでなく職員にとっても、より快適な入浴時間となっています。



いい湯
だなあ〜♪



日中活動の充実に向けて(蒜山慶光園:生活介護)

蒜山慶光園の生活介護を利用されている方の年齢層は幅広く、さまざまな障害を持った方々がおられます。そういった利用者がより落ち着いた環境の下で充実した日中を過ごしてもらえるように、今年度から活動場所を作業ゾーン、個別活動ゾーン、静養ゾーンの3つのゾーンに区切って活動しています。同じ活動場所に3つのゾーンがあることで、その日の一人ひとりの体調や調子に合わせた活動を柔軟に選択することができます。作業ゾーンでは、計量や袋詰め等の軽作業を行っています。個別活動ゾーンでは、創作活動やレクリエーションなど個々が取り組める活動を行っています。静養ゾーンではベッドを完備しているため、横になって休むことも可能です。例えば、午前中は作業ゾーンで仕事を頑張ったり、午後からは疲れを癒すために静養ゾーンで休憩しながら、ゆっくり過ごすことが可能です。今後も試行錯誤を重ね、利用されている方々の日中活動のさらなる充実を目指します。





社会福祉法人 慶光会



福祉職員教育システム始動



社会福祉法人慶光会では、利用者さんへ質の高い実践を提供していく為に、また、個人・事業所・法人としてスキルアップすることを目的に、今年度から新たに教育システムを整備しました。これは、職員の経験年数から5段階にレベルを分け、各レベルに合わせた様々な研修を開催することで職員教育の充実を図るものです。今回はその中でも、4月に開催した入職1年目～3年目職員を対象としたコミュニケーション研修の様子をお伝えします。

この研修は、“倉敷市自然の家”へ出掛け開催しました。入職間もない方は、「顔と名前は知っているけど、実際に話すのは初めて。」という職員もいたため、まずはアイスブレイクで緊張をほぐして話しやすい雰囲気作りから始まりました。そこからインシアティブゲームを通してみんなで意見を出し合い、チーム一丸となって課題達成を目指しました。昼食は3チームに分かれ、試行錯誤しながら手打

ちうどんにチャレンジしました。各チームそれぞれ個性のあるうどんが出来上がり、美味しくいただきました。活動の最後には、「暗夜行路」という活動を行い、お互いの信頼関係が深まったように思います。参加者からは「チームのために自分の意見を言うことが大切だと感じた。」「みんなの意見を聞き出すことの難しさを学んだ。」という感想や、「他事業所の人だとゆっくり話す機会もないので、話せてよかった。」という感想が聞かれました。

この研修を通して、コミュニケーションの大切さを学ぶことができたと同時に、同年代での職員同士の親睦を深めることもできました。コミュニケーションの大切さや難しさについて一人ひとりが感じたことを、現場に戻って利用者さんへの対応につなげ、実践力の向上につながればいいなあと思います。

第16回 ふれあい祭りのお知らせ

開催日時

令和7年10月4日(土) 11:00～14:00
*雨天時、規模を縮小して開催します

場 所

デイセンターまにわ(真庭市下市瀬653)
出店・イベントもたくさんあります。
皆様のご来場を、お待ちしております。

ありがとうございます。

関金地区金谷公民館有志の皆様
株式会社 モリックスジャパン様
三宅電気管理事務所様



公益財団法人日本財団から 福祉車両配備の助成をいただきました

令和7年3月に、送迎車両として納車されました。送迎車両が増えたことで、自力での通所が困難な方の利用希望にも応えることができるようになります。しっかりと活用させていただきます。

ありがとうございました。

